

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」出町柳校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 11月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 11月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別療育でその子に応じたオーダーメイドの療育。	・指導員間での情報共有をしている。 ・保護者とのコミュニケーションを取っている。 ・子どもが楽しいと思える内容を考えている。 ・本児の様子を見てその日の内容を調節している。	・保護者と話す時間をより確保できるようにして学校や家庭の様子を聞き取っていく。 ・子どもの様子や取り組み内容について職員全体で共有をしていく。
2	・保育士や認定心理士の資格を持っている職員がいる。	・知識や経験を活かした療育を考え一人ひとりに合った内容を取り組んでいる。 ・内容や対応に困った時は資格や経験が多い職員に聞くようにしていく。	・知識などを他の指導員にも共有していく。 ・困った時など聞ける時間や環境を整えていき職員一人ひとりが知識を得られるようにしていく。
3	・送迎時に保護者との関りが多い。	・療育時間内に来所して頂き様子ややり取りを実際にみてもらう。 ・家庭での困り感、様子聞き対応策や方法を伝えていく。	・療育を見てもらうための声掛け等を行っていく。 ・家庭や学校の様子を聞く中で変化や成長にも気付き伝えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・集団での活動が少ない。	・時間の調節が難しい。 ・利用時間のスケジュールが合わない。	・小集団の活動について周知していく。 ・土曜日や長期休みを利用してスケジュールを組み立てていく。
2	・通所を希望されても空きがないためすぐに案内ができない。	・継続して利用している方が多く卒業が少ない。 ・夕方の時間帯に利用している方が多い。	・空きが出た場合ご連絡をする。 ・適宜、課題や成長など確認していき子どもに合った居場所を提案していく。
3	・支援室が少ない	・使用できるスペースに限りがあることが要因。 ・一時間に利用人数が決まっており部屋の空きがない。	・教室の割り振りなど工夫して支援を取り組んでいく。 ・時間によって空いている部屋があれば促していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子育てサポート教室「きらり」出町柳校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 40

回収数 30

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	5			・もっと広いスペースがあるに越したことはないが今でも活動はできている。 ・声や音はささぎることが出来ないでお互い気になるかもしれません。	スペースが確保できるように職員間で相談をしていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1		1		常に3人以上の指導員を配置している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	5	1			入口付近は車いすの方でも通りやすいようにあまりものを置かないようにしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	2	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2			・子どもの苦手なことや躓いている所も丁寧に指導して頂いています。	日々の変化に応じて設定している。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	3		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1			・子どもに学校の様子を聞いて頂き、勉強以外に友人との関わり方や思春期の体的変化などの指導など行って頂きとても助かっています。	日々の変化に応じて設定している。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	3		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29			1	学習や運動など出来ない所は方法を変えながら支援をして頂いていると思います。担当の先生以外に他の先生も指導頂いたり関わってくださる事がとてもいいと感じています。	子どもの特性などに合わせて課題を設定している。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	12	7	機会はないが問題はなし	交流する機会を設けていない。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1				契約時に説明をしている。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	8	3	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1		1	家や学校での様子から支援に反映して頂いています。また子どもから家や学校では言えないことも上手に聞き出して頂きその対応も考えて頂いています。	家庭や学校の様子を伺い、課題について共通理解を持っている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1		1		保護者の要望があれば時間を設けている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	3				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	11	9	機会はないが問題はなし	現在開催する予定はないが要望があれば検討していきたい。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1	1	1		保護者の要望があれば時間を設けている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	2	8		自事業所に掲示やLINE発信、ホームページに記載している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1		1		鍵のついた書庫に保管をしている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26		1	3	訓練に関してはわかりません。	契約時に保護者に説明をしている。また教室内にも掲示をしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	3	1	7		月に1回災害を想定して訓練を行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	2		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	3		5		事故などは現在ない。あった場合の対応は定期的に共有している。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	4			・楽しみかは曖昧だが頑張ろうと思っで通っています。 ・ミックやお化け選手権、七夕の短冊など色々工夫して頂き子どもも楽しく取り組んでいるのがいいと思います。	引き続き、楽しく通所してもらえるように環境を整えていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	2			・色々な支援をしてくださってありがとうございます。 ・先生方、支援など全て満足しています。いつもありがとうございます。	日々満足していただけるように指導員が内容を考え療育に取り組んでいる。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」出町柳校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションを使いながらスペースを取ることができている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		支援の入替時間帯に指導員が出払っている場合は混雑する時があるが、それ以外の配置数は適切である。職員間で協力し対応できていると思う。	指導員を3名以上配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		大きい部屋の床を張り替えてほしい。	段差はないが、入り口付近やトイレは車いすが通りづらい状況となっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもの特性に合わせて環境を整えている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもに合わせた部屋の使い方ができている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月初めに、1か月ごとの振り返りをしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			アンケート調査後、改善策など自事業所で改善策など話し合っていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常に話す事ができる雰囲気づくりができている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		内部監査での評価、指摘を職員間で共有し業務改善に繋げている。	第三者による外部評価は現在行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1度、研修があり知識を得ることができている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		モニタリングや相談の中から作成している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		受付シートや見学、体験などで聞き取り、アセスメントを行い、計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員と相談しながら課題設定を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を作成した際、担当職員に共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		半年ごとにアセスメントを実施している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本児の特性や場合に応じて設定している。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	子ども一人ひとりのニーズに応じたプログラムを立案する機会、時間を設けどこまでだったらできて、できないのか意見を出し合っている。支援内容やプログラムについては各指導員が考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	季節や行事に合わせたプログラムを考え固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		放課後等デイサービスの集団活動は取り組めていないため長期休みなどで進めていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝にミーティングを開き1日の利用者の確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	共有や次回の支援の方向性など密に連携を取れている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	当日または翌日に記録を取ることができている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年ごとにモニタリングを行い、今度の課題を設定している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○	職員一人ひとりが理解をし取り組んでいる。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	子どもに取り組む順番を決めてもらったり支援プログラム外での好きな遊びの時間で何をしたいのか考える時間を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加の機会がない。体制的には担当者もしくは児発管が参加できるようにしている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	保護者の方と連携をとり必要であればその他の機関と連携することができている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	保護者から要望がある場合は適宜行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	保護者から要望がある場合、訪問し共有していく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	必要であれば連携することができる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		連携を取ることは現在ないが、必要に応じて連携をしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流する機会がないので、職員に見学に行ってもらうなど交流と理解を深めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		定期的に参加するようにしている。可能な限り参加をしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援の様子を伝えつつ、家庭や学校の様子を伺い共通理解を持っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援プログラムとして明確に行っていないため、今後勉強していきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、丁寧に説明をしている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時に様子など聞き取りを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		半年に一度確認をし同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に悩みや相談を聴取し助言を行ったり、必要に応じて児発管と話す時間を確保している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様同士での交流の場は設けることができていない。 兄弟での交流は利用者様の希望に合わせて設けることが出来ている。 ・兄弟で利用されているお子さんは一緒に支援を行うことがある。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情はないが、あった場合は迅速に対応をしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		掲示や配布、LINEで発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵をつけて書庫に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特性に合わせて視覚的ツールなどを使用している。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域の方が参加できるようなイベントは開催していない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に研修を行い確認をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に1回、防災訓練など実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		全てを把握することはできていないが確認している児童もいる。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		支援時間内に食事をすることがない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に緊急事態が起こった際の避難場所などを説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		月に一度行うことができています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全体で共有することができています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時の説明に加え、必要な場合は計画書にも記載している。		